

意識改革パーソナル研修【目的別】

40代

キャリアートの決定

項目	内容	研修手法
コンセプト	保有能力の発揮には、40歳代時点で今後のキャリアルート（マネジャーかスペシャリストか）を明確にしておくことが最重要課題となっていることを認識する。	コーチング
コンテンツ	自分が会社の中核として、成果貢献が最も期待されていることを認識させる。 今後どのキャリアルート、専門分野で自分が成果貢献をするかが明確になり仕事へのモチベーションが高まる。	講義&ワーク
ゴール	会社依存型社員が、40歳以降負債型人材に移行することを回避する。	コーチング